

いなば泰子 ニュース



残暑お見舞い申し上げます

うら盆は秋の気配も感ずるほどでしたが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。さて六月定例市議会は、七月十一日に閉会しました。初の議会で感じたことをご報告します。なお『岡山市政ニュース』二〇三号（日本共産党岡山市議団発行）をご覧下されば、今回の市議会の概要がおわかりいただけると存じます。

市民が主人公の行政を

稲葉泰子

議会運営や予算のしくみなど、慣れないことが多かった出発でした。

市長の所信表明にはじまって、議員三十六人が質問しました。閉会日には、私が日本共産党を代表して反対討論するなど、日々動きを体得して、岡山市政の流れが次第にわかってきました。

現市政の特徴は、市民の願いに心えるのは部分的であることです。いま、国保料の引き下げや、医療費負担の軽減、市民生活に身近な公共事業に予算を使うことが、切実にもとめられています。しかし、「雄都岡山に」のスローガンで、岡山駅周辺の開発に力を入れたり、市民不在の合併・政令市が進められようとしているのです。

日本共産党市議団は、市長が市議会・市民に問うことなく、玉野市や御津町に

「合併した場合、五百五十億円の特例債の大半を使っていた」と、公言していたことを明らかにし、任意協議会への参加は継続審議にと頑張りましたが、採択され協議会は発足してしまいました。しかし、市の将来を決める重要な問



ピース・バルーン

毎年8月6日、広島に原子爆弾が投下された日には、岡山市役所中庭で、職員労働組合が中心になって反戦平和を誓い風船に願いを書いて空に放します。

今年も保育園の子どもたちが参加しました。町内会長のあいさつもあって「折鶴」などの歌を歌いながら風船を放しました。（写真中央は、稲葉市会議員）

願いがかなった施策
保育料は第三子から無料に
学童クラブの障害児受け入れ支援
「母子家庭医療費公費負担補助制度」の対象者に、父子家庭（所得制限あり）が加わりました。

題を市民不在で行なおうとしているのが最大の問題です。十分な情報公開と、公聴会や住民投票を行なうよう要求し、運動していきます。それにしても、共産党市議がもつと多ければ、市民が主人公の立場で市政を動かすこともできるのにと考えたことです。引き続き議会の様子をお知らせして、皆さんのパイプを太くしますので、よろしく願います。